

# 千布小学校だより

6月号 R1.6.10  
天童市立千布小学校  
校長 三好 義宏

## 合言葉は「みんなが団結して くいのない運動会にしよう」でした！

昨年とは打って変わり、晴天のもと最高のグラウンドコンディションで迎えた「創立140周年記念運動会」でした。ご来賓・家族・地域の皆様に大きな声援をいただきながら、元気な姿を披露できた運動会となりました。春の運動会の大きな目的は、体力の向上もありますが、学級や赤白の縦割り集団でのまとまりを良くすることです。競技での優勝や四谷賞（応援賞）を目指して、早い5月の段階でぎゅーっと集中できるからです。これまで5・6年生は、上級生として下級生をまとめる知恵を絞り準備や声掛けを行い、下級生は上級生になった時の自分と重ね合わせながら、あこがれを持ちながら見つめていたようです。徒競走・リレーや学年部種目でも、懸命に記録や得点獲得に挑み、一人ひとりのひたむきな姿勢が光っていました。

また、今年は140周年記念事業として、実行委員会より「タイムが縮んだで賞」「ダンスうまいで賞」「バトンパスうまいで賞」「すてきなポスターで賞」「プログラムの中に絵が採用されたで賞」を贈っていただき、これまでにない別の視点で子どもたちを褒めてあげることができました。

PTAとボランティアの皆様より、たくさんの協力をいただき、心より感謝申し上げます。

競技得点 赤組

589点

競技得点 白組

695点



応援得点 赤組

498点

応援得点 白組

499点

赤組組頭 土屋輝空  
運動会を通して、自分が変わったことは、みんなの前でははずかしくて声が出ないけれど、組頭をしたらみんなの前でも、はきはき言葉が言えるようになったことです。

実行委員長 花輪 優芽  
始めの言葉で少しきんちょうしていたけれど、はきはきとどうどうとすることができました。人の前で言葉をしゃべるのは苦手だけれど、この運動会で始めの言葉を言うことで、勇気が出ました。

白組組頭 吉田 遼亮  
運動会で、応援団以外の人をまとめて、全力を出したので勝てたのだと思います。そして、応援で負けていたけれど、学級目標の⑥のあきらめないでたかったのだ、完全優勝できたのだと思いました。

### 徒競走学年最高記録者一覧

1年男子	1年女子	2年男子	2年女子	3年男子	3年女子
はちやたつき 12.8	おおうちあいり 13.2	はなわはると 15.6	はせがわあやね 15.4	森谷煌乎 18.7	位田絢音 17.6
4年男子	4年女子	5年男子	5年女子	6年男子	6年女子
茂木 然 16.8	水戸部七花 17.6	佐藤大斗 16.4	本田玲佳 16.1	水戸部東次 15.1	高柳莉穂 17.0

# 陸上運動に燃えた1か月

市総体陸上競技が5月19日（日）に、干布小運動会が5月25日（土）に、小体連陸上運動記録会が5日（水）に開催され、練習期間を含めると陸上運動にどっぷり親しんだ1か月となりました。

市総体には、80mハードルに5年富樫柚香さんが、ジャベリックボール投げに5年大沼有太さん・6年森谷莉乎さん・日向響輝さん、走り幅跳びに6年位田侑飛さん・吉田遼亮さん、100mに6年土屋輝空さん、4×100mリレーにも出場しました。なかなか練習の時間が取れない中、子どもたちは生き生きと運動を楽しみました。自分の力試しになった大会でした。

小体連陸上運動記録会に向けての練習は、5年生と合同で、体育の授業を兼ねて行いました。6年生の姿を見て、5年生も陸上に親しめたようです。当日の朝には、5年生が運営する壮行式も開かれ、6年生はやる気をもらった様子でした。しかし、試技中に落雷警報が出されたため、競技中止となりました。試技ができた子どもとできなかった子どももあり、非常に残念なことになりました。子どもの気持ちにどうやったら応えられるか、検討していくことにしております。これまで、体調管理等にご協力いただきましたことに、感謝申し上げます。



↑小体連陸上記録会壮行式



←陸上運動の次は水泳に

## あいさつを考える

先月の続きとなりますが、挨拶の話です。運動会が終わった次の週の事です。教頭先生の所に、1本の電話が入りました。要約すると以下のような話でした。「徳正寺の前を自動車で通りかかったら、押しボタン式信号機のある横断歩道を渡る女の子がいました。一時停止をして、女の子を見ていたら、停まった私の方をむいて会釈をしてくれました。どこの小学生かと思っ、ネームを見たら干布小学校と書いてありました。清々しい気持ちにさせてくれた女の子のことを学校に伝えなくてはと思い、電話番号を調べました。そして、電話をかけたところです。」

わざわざ、電話をかけて下さった男性の方に頭が下がりますが、本校の児童が運転手に対して、「ありがとう」を伝えようとする態度にも、うれしくなり、たよりに記しました。挨拶で心が通じ合う素敵な一コマではないでしょうか。

先週までのさわやか週間へのご協力ありがとうございました。ご家庭での規則正しい生活習慣作りが、健康で安全な学校生活につながります。今後とも、家庭と学校の相互理解のもと、心身ともに元気いっぱいの干布小児童の育成に努めていきます。